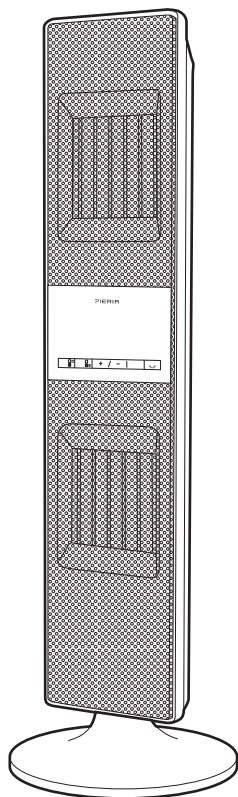


タワー型セラミックヒーター DCH-1506

取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあとにもいつでも見られるように大切に保存してください。

※ 本機はお客様組み立て商品となっています。

も く じ

安全上のご注意	P. 2～3
各部の名称とはたらき	P. 4
組み立てかた	P. 5
正しい使いかた	P. 6～9
お手入れと保存	P. 9～10
修理・サービスを依頼する前に	P. 11
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙

仕 様

型 名	DCH-1506
電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	1200/1000/800/600/400W
ヒーター	PTC ヒーター
安全装置	転倒オフスイッチ（内蔵タイプ）／温度ヒューズ／温度センサー
電源コード長さ	約 1.8m
外形寸法	約 幅 260 × 奥行 260 × 高さ 843mm
質 量	約 4.3kg
付属品	フィルター × 2（本体に取り付け済）、リモコン × 1、リモコン用コイン形リチウム電池（CR2032） × 1、取扱説明書・保証書 × 1

- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

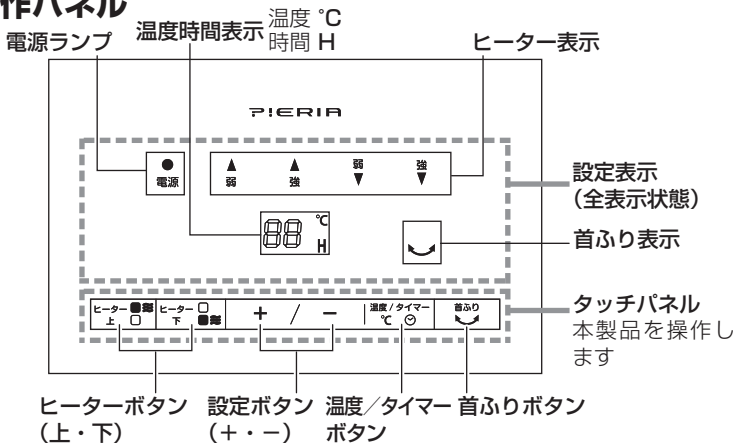
 禁止	交流 100 V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		定格 15A 以上の壁コンセントを単独で使う。 他の器具と併用するとコンセント部が異常発熱して発火するおそれがあります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが・やけど・感電の原因になります。		リモコン用の電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	 プラグを抜く	使用後は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。 火災や故障の原因になります。
	スプレー缶などを本体の近くに置かない。 爆発や火災の原因になります。		お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	本体に衣類やふとんなどを掛けて使用しない。 過熱して火災、やけどの原因になることがあります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシシャお客様相談室（裏表紙参照）にご相談ください。
 使用禁止	就寝中は使用しない。 寝具などが触れて火災の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	異常時（こげ臭い、発煙など）は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。

注意

 禁止	お手入れや持ち運び、保存の際は、本体が冷めてから行なう。 火災ややけどの原因になることがあります。	 禁止	リモコンの電池は直射日光が当たる場所など高温になる場所に置かない、火の中に入れない。 液もれや破裂・火災などの原因となります。
	壁や家具の近くで使わない。 熱で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因になることがあります。	 指示	電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電やショートの原因になることがあります。
	不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。 けがや火災の原因になることがあります。		運転をする際は、必ずフィルターを取り付ける。 フィルターを取り付けずに運転すると、火災や故障の原因になることがあります。
	カーテンやふとんなど、燃えやすいものの近くで使わない。 火災の原因になることがあります。		リモコンの電池は⊕⊖を正しく入れる。 間違えて入れると、故障するだけでなく、液もれや爆発の原因となります。
	乾燥など他の用途に使用しない。 過熱して発火の原因になることがあります。		長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く。 長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。
	使用中は本体から離れない。 火災の原因になることがあります。		リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。
	犬やネコなどのペット暖房用には使用しない。 ペットが本体や電源コードなどを傷め、火災の原因になることがあります。	 ぬれ手禁止	電池の交換は濡れた手で行なわない。温度の高いところでは行なわない。 リモコン内部に水滴が付き、故障の原因となります。
	お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。	 接触禁止	使用中や使用後しばらくは、温風吹出口（高温部）に触れない。 やけどの原因になることがあります。
	リモコンの電池は指定以外の電池を使用しない。 液もれなどの原因になります。		

各部の名称とはたらき

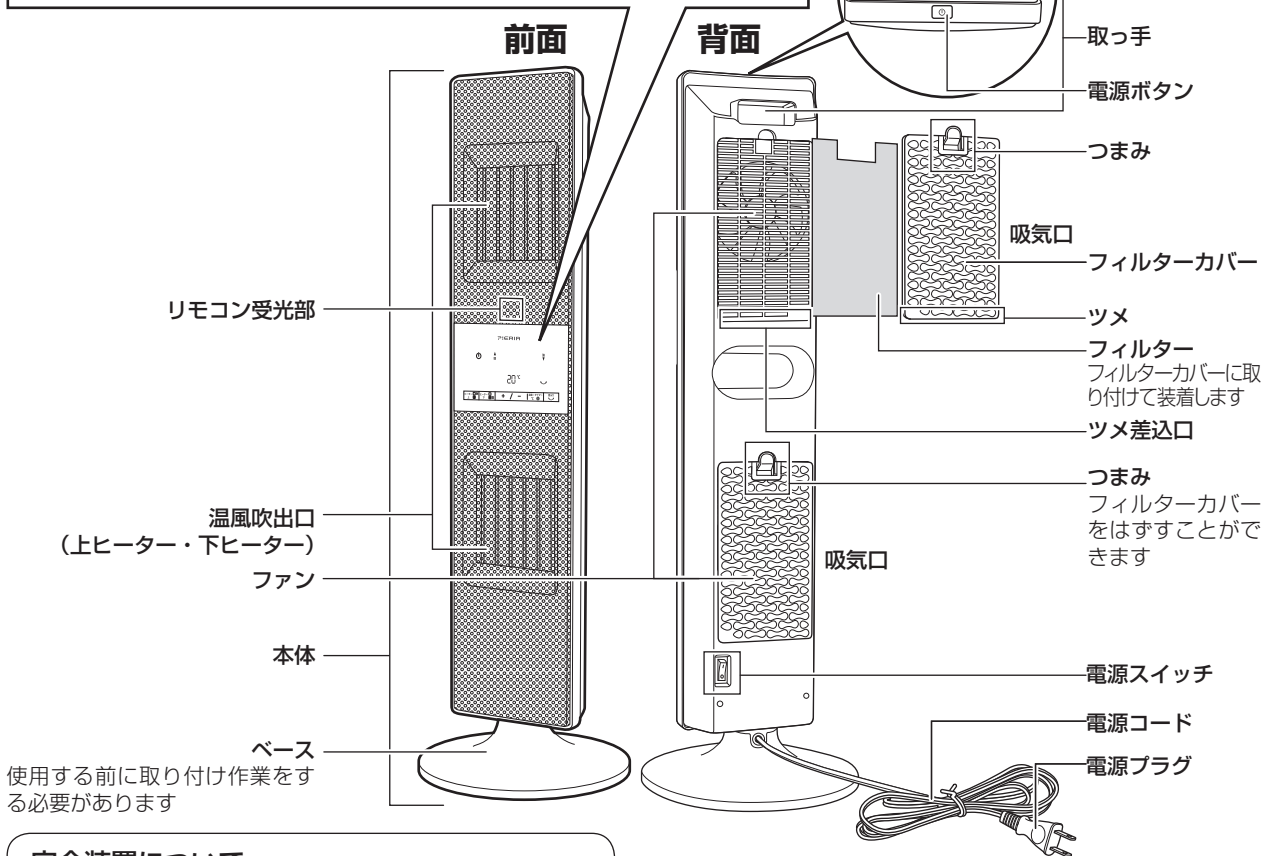
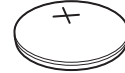
操作パネル



付属品

リモコン× 1

ボタン形リチウム電池 (CR2032) × 1



使用する前に取り付け作業をする必要があります

安全装置について

- 使用中に転倒したときは、転倒オフスイッチが働き、電源が切れます。
 - 温度が上昇しすぎると、温度センサーが働き、自動的に運転を停止します。(温度が下がると運転を開始します。)
- さらに温度が上昇すると、温度ヒューズが働き、運転回路を遮断します。(温度が下がっても運転は開始されません。販売店またはドウシヤお客様相談室(裏表紙参照)にご連絡ください。)

切り忘れ防止機能

本体またはリモコンを最後に操作してから約 12 時間経過すると、運転が自動的に停止します。



注意

- 使用中は本体から離れない。
- 本体を移動させる場合は、本体が冷めてから取っ手を持って移動させる。
- 使用中や使用後しばらくは、温風吹出口に触れない。

組み立てかた

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体	1 個	リモコン本体	1 個
ベース	1 個	リモコン用コイン形リチウム電池 (CR2032) ...	1 個
ベース取り付け用ナット	1 個	取扱説明書 (保証書含む)	1 個



注意

- ・組み立てを行わず (ベースを取り付けず) に運転をしない。
- ・組み立てを終えて、正しい位置に設置してから電源プラグをコンセントに差し込む。
- ・吸気口・温風吹出口をさえぎるような環境には置かない。

本体の組み立てかた

1. 本体をテーブルなどの上に寝かせる

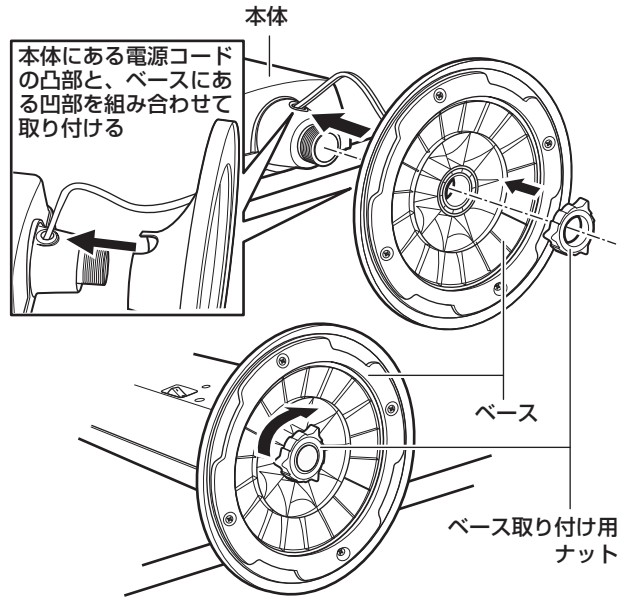
本体にキズが付かないように、テーブルなどには大きな布を敷いておいてください。

2. 本体にベースを取り付ける

ベース取り付け用ナットを使って、ベースを取り付けます。

- ・新規購入時、本体に取り付けてあるベース取り付け用ナットを取りはずします。
- ・本体にベースを取り付け (電源コードの凸部とベースの凹部を組み合わせる)、ベース取り付け用ナットでしっかりと固定します。
- ・本体を載せていたテーブルなどから十分気をつけておろし、床に設置してください。

本体を動かすとカラカラと音がすることがありますが、これは転倒オフスイッチ (安全装置) の音であり、異常ではありません。



リモコンに電池を入れる

1. 電池ボックスをリモコン本体から引き出す①

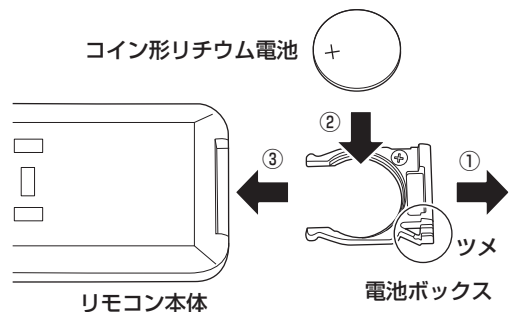
電池ボックスのツメを内側に倒すようにして引き出します。

2. 電池の⊕⊖の向きに注意して電池ボックスにセットする②

電池の⊕側を上にしてセットしてください。

3. 電池ボックスをリモコン本体に差し込む③

カチッと音がするまで差し込んでください。



使用可能範囲

- ・本体正面から直線で約 6 m
- ・本体正面から左右に約 30 度
- ・リモコンと本体の間に障害物がある場合は、リモコンが正常に動作しないことがあります。



注意

- ・電池の寿命を長くするため、長時間使わないときは電池を取りはずす。
- ・電池の破裂や液もれを防ぐため、⊕⊖を正しく入れる。
- ・電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。
- ・万一、液もれが起こったときは、よくふき取ってから新しい電池を入れる。

正しい使いかた

使用前の準備



運転するときは、フィルターを取り付ける。
フィルターを取り付けずに運転すると火災や故障の原因になることがあります。

1. 本体とベースが確実に取り付けられていることを確認する

本体がベースに対して不安定な状態になっていないか確認してください。

2. 本体を水平な場所に設置する

安定した水平な場所に設置してください。
(右図)

※ 近くに可燃物がないことを確認し、可燃物がある場合は、移動させてからご使用ください。

3. 電源プラグをコンセントに差し込む

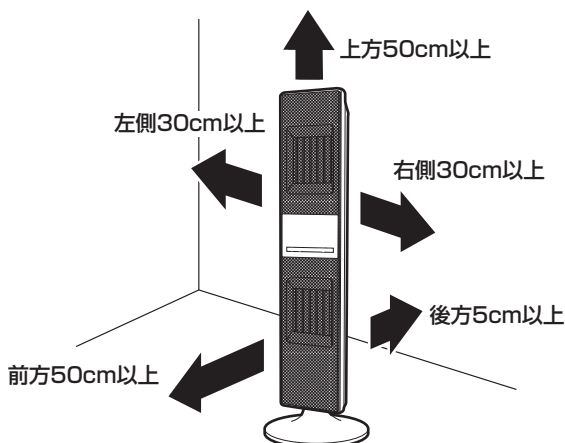
4. 本体裏の電源スイッチを「Ⅰ」(入)にする

“ピー、ピー” という音が出ます。



- 定格 15A 以上の壁コンセントを単独で使用する。
他の器具と併用するとコンセント部が異常発熱して発火するおそれがあります。
- 本体に衣類などをかけて使用しない。
火災ややけど、本機の故障の原因になります。
- 電源コードを束ねたまま使用しない。
電源コードの発熱、発火のおそれがあります。
- 外出などで本体から長時間離れるときは、電源プラグをコンセントから抜く。
安全装置が働いて、ヒーターが停止していることがあります。温度が下がると自動的に運転を開始しますので、消し忘れや火災の原因になります。

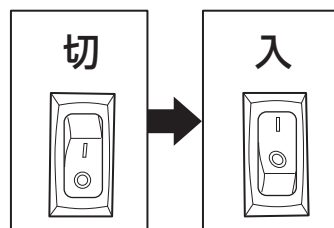
本製品は壁や周囲から適当な距離を保ってください。(火災の原因になります)



次のような場所では使用しないでください。

※ 毛足の長いカーペットや座布団の上などの不安定な場所（本体が傾いたり、浮いたりして、転倒や転倒オフスイッチの誤動作の原因になります。）

※ カーテンなどが吸気口をふさいだりしないように、十分に離して設置してください。



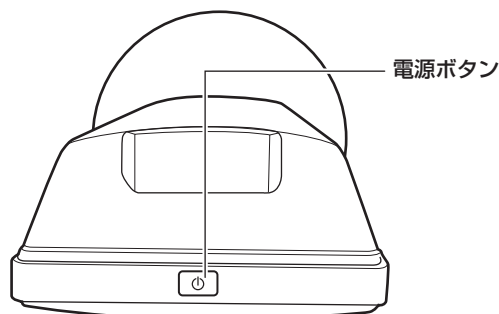
運転の開始／停止

1. 本体の上の電源ボタンを押して運転を開始する

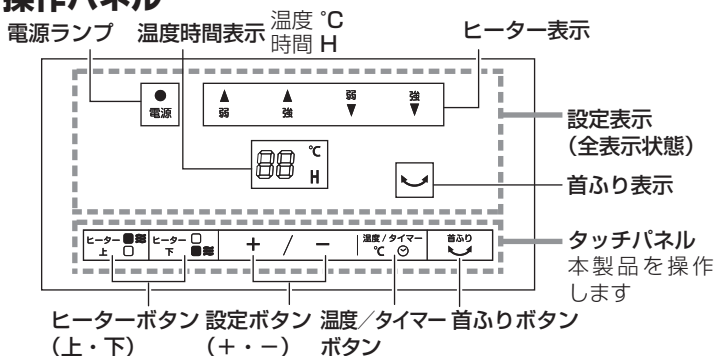
操作パネルの電源ランプが点灯し、上・下ヒーターとも「強」の設定で運転を開始します。

※ リモコンからは運転を開始させることができません（運転開始は必ず本体の電源ボタンを押す必要があります）。

※ 通常、温度時間表示は現在室温を表示しています。

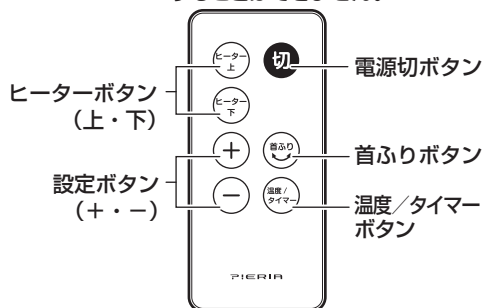


操作パネル



リモコン

※リモコンで電源を入にすることはできません。



2. ヒーターボタン (リモコン) を押し、使用する上下ヒーターの設定を選ぶ

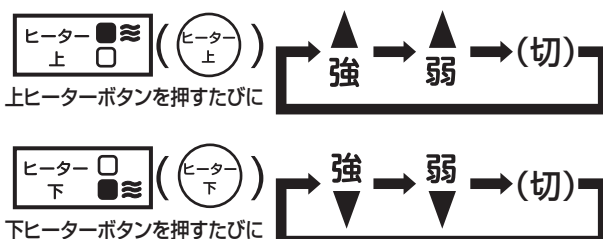
操作パネルの上部に現在の設定内容が点灯しますので、確認しながら使用環境に合わせて、上、下、上下両方と設定できます。

・上下とも強・弱・切を選択できます。上下とも切を選択したときは、運転が停止します。

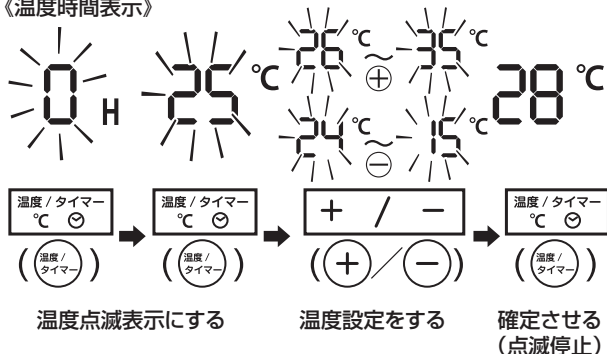
3. 温度設定するときは、温度/タイマーボタン (リモコン) を2回押しして温度時間表示を点滅表示にし、設定ボタン (+/-) を押す

温度設定をすると、設定した温度になるようにコントロールします。

- ・温度時間表示右側が「℃」になっているときに温度設定状態(温度点滅表示)です。
- ・温度時間表示を希望の温度にした後、最後に温度/タイマーボタン (リモコン) を押しして確定させます(約5秒そのままにしても確定します)。確定させると点滅が停止し、現在室温表示に戻ります。
- ・初期設定(電源投入時)25℃、最低15℃、最高35℃、1℃ずつ設定することができます。
- ・上下のヒーターごとの設定をすることはできません。



《温度時間表示》



運転を開始してもすぐに運転が止まってしまうときは

設定されている温度が、現在の温度(室温)よりも低く設定されていると運転が停止してしまいます。

- ① 電源ボタン (リモコン) を押して電源を入れ、表示された温度(室温)を覚えておき、すぐに温度/タイマーボタン (リモコン) を2回押しして温度時間表示を点滅表示にする

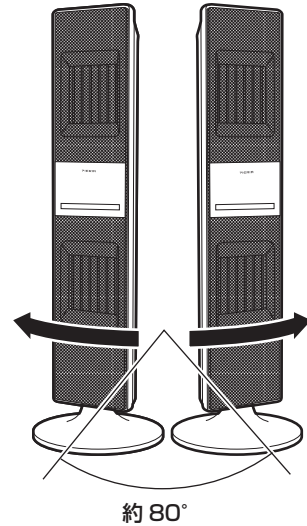
- ② 設定ボタン (+/-) (リモコン (+/-)) を押して(最初に表示された温度) 現在室温よりも高い温度を設定する
室温より高い数値にする必要があります。
電源投入時は25℃に設定されています。
- ③ 室温表示が異常な数値を表示するときは、本体を冷暗部に置いて落ち着かせてから使用してください。

正しい使いかた（つづき）

4. 首ふり運転するときは、首ふりボタン (リモコン) を押す

首ふり運転をすると、ベースより上が左右に約80°動きます。

- ・首ふり中に首ふりボタン  (リモコン ) を押すと、首ふりを停止します。もう一度押すと首ふりを再開します。
- ・首ふり運転中は首ふり表示が点灯します。
- ・手動では角度を変えることができません。無理に向きを変えると故障の原因になります。運転中に首ふりボタン  (リモコン ) で調節してください。



⚠注意

首ふり運転するときは、温風の方向に十分注意する。

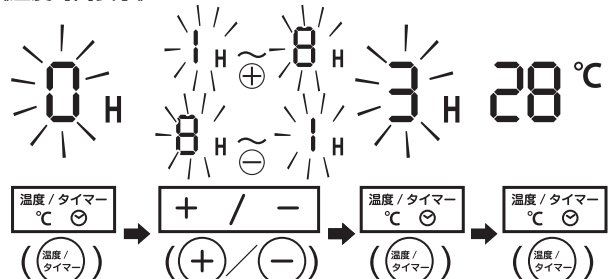
- ・温風吹出口の方向が変化し、思わぬ事故の原因になります。
- ・リモコン受光部も変化するため、角度によってはコントロールできなくなることもあるので、注意してください。

5. 切タイマーを設定するときは、温度／タイマーボタン (リモコン) を押して温度時間表示を点滅表示にし、設定ボタン (リモコン) を押す

切タイマー設定をすると、設定した時間になると切にします。

- ・温度時間表示右側が「H」になっているときに切タイマー設定状態です(時間点滅表示)。
- ・温度時間表示を希望の時間にしたら、最後に温度／タイマーボタン  (リモコン ) を2回押して確定させます(約5秒そのままにしても確定します)。確定させると点滅が停止し、現在室温表示に戻ります。
- ・切タイマーを設定したのち、時間の経過とともに、切タイマーが働くまでの時間を表示します。
- ・切タイマー運転中でもヒーター切替や温度設定の変更、首ふりの変更、切タイマーの時間の変更をすることができます。
- ・切タイマーをキャンセルするには、切タイマーの時間設定を0にしてください。

《温度時間表示》



時間点滅表示にする 時間設定をする 2回押して確定させる 現在室温が表示されます

通常運転時の温度時間表示

例 18℃ (⇄ 3 H)

通常運転時は、現在の室温表示をします。
切タイマー設定されているときには、
室温表示と切タイマー残り時間
を約30秒ごとに切り換えて表示します。

設定した温度を超過したとき

運転は停止しますが、左の表示を続けます。

- ・設定した温度よりも室温が下回ったときは運転を再開します。
- ・切タイマー設定されているときには、切タイマー設定されている時間中、運転を再開させます。

6. 電源ボタン $\odot$ を(リモコン $\odot$ 切)押して運転を停止する

電源ボタン $\odot$ (リモコン $\odot$ 切)を押してから約10秒間、ヒーターを冷やすため、ファンが回り続けます。

7. 本体裏の電源スイッチを「 $\bigcirc$ 」(切)にする

ファンが停止したことを確認し、本体裏の電源スイッチを「 $\bigcirc$ 」(切)にしてください。

※電源ボタン $\odot$ (リモコン $\odot$ 切)を押して電源を切っただけでは待機電力を消費しています。使用を終えたら、電源スイッチを切って「 $\bigcirc$ 」(切)、電源プラグを抜いてください。

8. 電源プラグを抜く

本体裏の電源スイッチを「 $\bigcirc$ 」(切)にしてから電源プラグを抜いてください。

切り忘れ防止機能

本体またはリモコンを最後に操作してから約12時間経過すると、運転が自動的に停止します。



警告

- ファンが停止する前には電源スイッチを切らない、電源コードを抜かない。故障の原因になります。
- 使用中、使用後しばらくは、温風吹出口など高温部にはさわらない。やけどの原因になります。

お手入れと保存



警告

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めたことを確認する。感電やけが、やけどの原因になります。

お願い

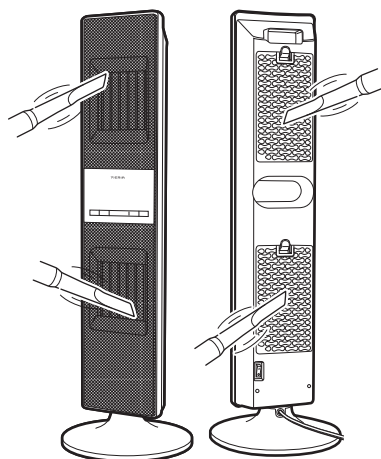
- ※ 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- ※ 化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きにしたがってください。
- ※ 本体に直接、水をかけて洗わないでください。(感電・故障の原因になります。)

本体のお手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください(樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります)。

温風吹出口／吸気口のお手入れ

掃除機でホコリを吸い取ってください。



お手入れと保存（つづき）

フィルターのお手入れ

下記の手順に従って行なってください。

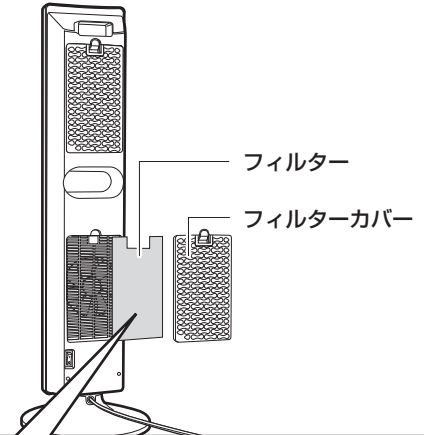
- ① 本体からフィルターカバーを取りはずす。
- ② フィルターカバーからフィルターを取りはずす。
- ③ フィルターのゴミやホコリを手や掃除機でいねいに取り除く。

※ フィルターの汚れがひどい時は、ていねいに水洗い（手洗い）をしてください。強くこすったり、ねじらないでください。破損の原因となることがあります。

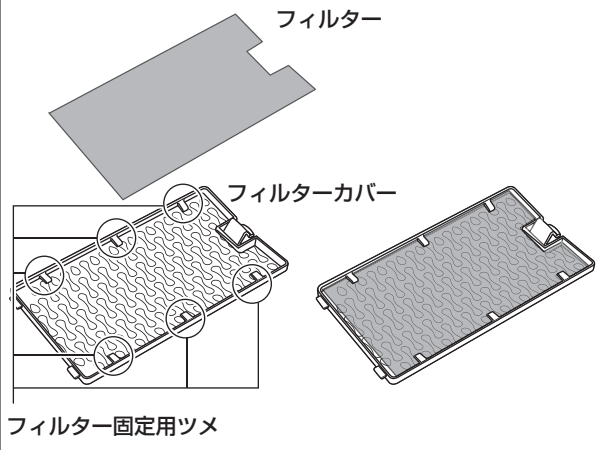
- ④ フィルターカバーにフィルターを取り付ける。
※ フィルターを水洗いした場合は、十分に乾燥させてから取り付けてください。
- ⑤ フィルターカバーを本体へ取り付ける。

※ お手入れのあとは、必ずフィルターとフィルターカバーを本体に取り付けてください。

※ フィルターカバーにフィルターを取り付け、フィルターカバーを本体にしっかり取り付けます。



フィルターは、お手入れのあとフィルターカバー裏面にあるフィルター固定用ツメ（6 か所）に取り付けてください。



フィルターの交換

フィルターをお求めの際は、本体お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室（裏表紙参照）にお問い合わせください。

※ フィルターは消耗品ですので、保証期間中でも「有料」とさせていただきます。

【フィルター】

破れたり、汚れがひどくなったり、紛失した場合は、フィルターを購入してください。

※ フィルターは水洗いできます。

商品名：フィルター（1 個）

FT-LA03

メーカー希望小売価格 ¥500（税抜）

保存のしかた

- ・お手入れの後、よく乾燥させてください。
- ・ポリ袋などに入れ、取扱説明書とともにお買い上げ時の箱に入れ、湿気の少ない場所に保存してください。
- ・お買い上げ時の箱に入れて保存される場合は、「本体の組み立てかた」（5 ページ）の逆の手順でベースを取りはずしてください。

※ はずしたベース取り付け用ナットは必ず本体に取り付け、なくさないように気をつけてください。

※ リモコンの電池ははずしておいてください。

修理・サービスを依頼する前に



警告

修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない (運転開始しない)	- 電源プラグがコンセントに差し込まれていない - 本体裏にある電源スイッチが「○」(切)になっている - 安定した水平な場所に置かれていない(転倒オフスイッチが働いている) - 安全装置(温度ヒューズ)が働いている(4ページ参照)	電源プラグをしっかり差し込んでください 本体裏にある電源スイッチを「 」(入)にする 置き場所を確認してください(安定した水平な場所に置く) 販売店またはドウシヤお客様相談室(裏表紙参照)にご連絡ください
電源ボタン(⏻)を押して運転開始しても、すぐに止まってしまう	温度が高くなって温度センサーが働いている	電源を入れてすぐに設定を変える(7ページ参照)
電源ボタン(⏻)を押して運転停止しても、ファンが回っている	ヒーターを冷やすために運転停止にしてもファンが回ったままになります(9ページ参照)	ファンが回っているのが10秒程度なら問題ありません
電源ボタン(⏻)を切にしているのに運転停止している	温度が高くなって温度センサーが働いている(4ページ参照)	温度/タイマーボタン  (リモコン ) を2回押し、設定ボタン  + / - (リモコン ) を押して、現在の室温よりも高い温度を設定する
		室温が低くなると動き出します
		フィルターが汚れて吸気ができずに内部の温度が上がってしまい、安全装置がはたらいっていることがあります フィルターのお手入れをしてください(10ページ参照)
	上下両方のヒーターを「切」にしている	ヒーターボタン   (リモコン ) を押して上下のヒーターを強もしくは弱に設定する
	切り忘れ防止機能で運転停止した	最終操作から約12時間経過すると、運転が自動的に停止する機能で停止したので、再度電源ボタン(⏻)を押して運転を開始する
リモコンで操作できない	リモコンの電池が切れている	リモコンの電池を交換する
	リモコンの電池の極性⊕⊖を間違えている	リモコンの電池の極性⊕⊖を確認して、正しく入れなおす
	リモコンの操作できる範囲外から操作している(5ページ参照)	本体の受光部に近づける、受光部に対して動作できる角度で操作する
本体を動かすとカラカラと音がする	転倒オフスイッチの音	異常ではありません

長年ご使用のヒーターはよく点検を

このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシヤお客様相談室に点検をご相談ください。